

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成30年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立愛宕山少年自然の家	所管課	子育て支援局 子育て政策課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年8月9日
管理方式	公益財団法人山梨県青少年協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の家設置及び管理条例		
設置目的	恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自立、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ心身ともにたくましい少年を育成するため、少年自然の家を設置する。 ※山梨県教育委員会からの管理運営事務の委任年月日 昭和48年8月1日		
主な施設内容 (定員等)	○建物面積 2,663㎡ ○建物の構造 鉄筋コンクリート造、地上4階建て ○施設の内容 ・1階 大ホール 144㎡ ・2階 工作室 78㎡、第一研修室 74㎡、第二研修室 67㎡、 展示ロビー 73㎡ ・3階 食堂 156㎡、浴室 ・4階 談話室、宿泊室 23㎡(15部屋、各10名定員)、事務室 96㎡		
主な業務内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 (4)野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 (5)体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	(1) 山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人 (2) 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:定員100人
------------------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)
利用者数	施設利用者数	17,700	16,976	13,443	20,986
	事業参加者数	788	584	582	507
	利用者数合計	18,488	17,560	14,025	21,493
	目標値	20,254	20,659	21,072	21,493
	目標値設定の考え方及びその理由	前年度の目標値の2%増			
	対28年度比		95.0%	75.9%	116.3%
利用率	40.9%	40.1%	32.8%		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成29年度	平成30年度 (計画値)	平成30年度 (実績値)	令和元年度 (計画値)
収入	施設利用料	2,207,770	2,765,000	1,831,190	2,252,000
	指定管理者委託料	60,157,000	61,255,000	61,255,000	62,531,000
	その他	290,016	406,000	282,793	506,000
	収入合計(A)	62,654,786	64,426,000	63,368,983	65,289,000
支出	人件費	27,592,778	32,794,000	29,354,833	34,819,000
	県への納付金				
	管理運営費	26,724,538	31,632,000	24,520,524	30,470,000
	うち外部委託費(B)	6,673,525	7,345,000	7,099,286	6,882,000
支出合計(C)	54,317,316	64,426,000	53,875,357	65,289,000	
収支差額(A-C)	8,337,470		9,493,626		
外部委託比率(B÷C)	12.3%	11.4%	13.2%	10.5%	
利用者一人当たりの経費	3,425.8		4,367.6		

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	<p>【調査項目①②④】 実施時期:平成30年4月～31年3月 実施方法:利用者へのアンケート 回答数:143人</p> <p>【調査項目③】 実施時期:平成30年4月～31年3月事業実施時 実施方法:事業参加者へのアンケート 回答数:167人</p>
-------	--

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設・設備の状況	67.4%	29.2%	2.6%	0.8%
②職員の対応(受付・接客)	83.2%	15.4%	0.5%	0.9%
③事業内容	89.2%	9.0%	1.8%	
④食堂の内容	71.3%	24.3%	3.4%	1.0%
施設全般の満足度	72.8%	25.8%	0.7%	0.7%

利用者の意見	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造のことになってしまうが、出入り・移動の不便さ、扉の重さなどが不満 ・プロジェクターが古い機種で使いづらい。 ・建物自体は古いが環境整備が行き届いていた。 <p>【職員の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても丁寧な対応をありがとうございました。 ・細やかな気配りをしていただき感謝、子どもたちが楽しく過ごせてよかった。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めてセミの羽化観察ができ感動した、子ども達はテント泊も初めてで、今日はいろいろとても良い経験ができ参加して良かったと思います。 <p>【食堂について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食にふりかけがあるとよい、味付けが少ししょっぱかった。
利用者の意見への対応	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適に過ごしていただけるよう環境整備を行っていきます。 <p>【職員の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後とも丁寧な対応を心がけていきます。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後とも工夫を行い満足していただける事業を提供していきます。 <p>【食堂の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の内容については、いただいたご意見を基に改善して参ります。

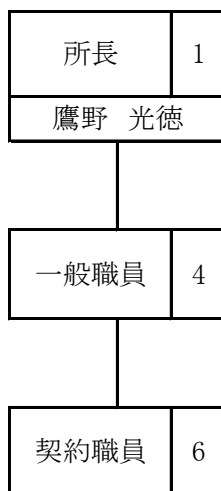
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設管理全体について、関係法令を遵守し、点検整備を行った行うとともに、専門知識を必要とする設備については外部委託によって、適切に維持管理業務を実施した。 また、職員で対応できるものについては、建物の巡回・点検整備を適切に実施した。	計画どおり適正に業務執行されている。
運營業務	安全に、楽しく利用できるよう、事前打ち合わせを適切に行い、必要な指導・援助を行った。	計画どおり適正に業務執行されている。
利用状況	利用者数、稼働率ともに減少している、前年度に施設の廃止を含め検討という報道がなされたことが要因となっている。 今後更に利用者の増加に向けて広報に力を入れていく。	引き続き利用者ニーズを適切に把握し、それに合致した事業展開を図るとともに、新規利用者確保のために広報活動を強化すること。
収支状況	燃料費、光熱水費を中心に需用費の節減に努め、全体として予定どおり執行できた。	燃料費、印刷製本費、光熱水費、など支出の削減に努めており、予算も適切に執行されている。
自主事業	多くの育成団体、ボランティアの協力を得て事業を実施することができた。	利用者ニーズなどを適切に把握し、それに合致した事業展開を図ること。
利用者満足度	対応やサービス面など高い満足度が得られている、今後とも更なるサービスの向上に努めていく。	概ね高い評価を得ている。 引き続き利用者の満足度向上に向けた取り組みに努めること。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>利用者数21,072人を目標値としたところ、平成30年度は、実績値14,025人となっており、目標を達成できていない。 前年度に施設の廃止を含め検討という報道がなされたことが要因として考えられる。 利用者の増加に向けて広報に力を入れていく必要がある。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設については、業務計画書に基づき適切に管理されている。 施設が老朽化しているものの職員のきめ細かい対応でカバーし、利用者数の目標値は下回ったものの、利用者満足度は80%以上と高い。 施設利用者及び事業参加者数の増加に向けて、広報活動を強化するとともに、利用者のニーズを把握し、サービスの向上に努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>利用者アンケート調査や実施事業の参加率などを参考に事業内容等の見直しを行っており、魅力ある施設づくりに取り組んでいる。 利用者の満足度の向上のため、業務計画書に沿った適正な施設運営に努めている。</p>

7 管理体制(組織図)

平成30年4月1日現在



所 長	1 人
一般職員	4 人
契約職員	6 人
合計	11 人